

<b>地域づくり総論</b>		<b>城戸 宏史</b>		
----------------	--	--------------	--	--

配当年次	2年次	配当学期	1学期	科目区分	アドバンスト
単位数	2単位	必修・選択	選択	授業形態	講義

授業で得られる「学位授与方針における能力（学生が修了時に身に付ける能力）」、到達目標  
 / Competence Defined in “Diploma Policy” (Competence Students Attain by Course Completion), Specific Targets in Focus

学位授与方針における能力		到達目標	
知識・理解	理論知識	○	地域が直面する問題や課題についてマネジメント理論を踏まえた議論ができる。
	実践知識		
技能	分析解決技能		
	実務技能		
	新規事業技能	○	地域の問題や課題の解決に向けた構想を各種の連携を踏まえて具体的に提案できる。
態度	倫理観態度		
	企業変革態度		
	地域リーダー態度	○	地域リーダーの自覚のもと、地域の諸問題に対して幅広い視点で提案できる。
	国際協調態度		

※ ◎：強く関連 ○：関連 △：やや関連

地域づくり総論

※ 2013年度以降入学生が対象です。

### 授業の概要

わが国は既に人口減社会に突入しており、経済活力の低下が深刻化しつつある。とりわけ、地方における経済活力の低下は極めて深刻な状況となっている。そのため、これまで以上に地域づくりや地域産業振興への関心が高まっている。しかしながら、従来の行政中心の手法には限界があり、行政の枠を超えたマネジメントのもとでの地域づくりや地域産業振興が求められている。

そこで本講義では、行政の枠を超えた地域づくりのケーススタディ等により、様々な担い手によって実行される地域づくりに必要な戦略やチームマネジメントについて学ぶものとする。なお、本講義の到達目標は、①地域づくりの現場における課題を具体的に抽出できること、②地域活性化につながる地域資源を具体的に発掘できること、③地域づくりを担う具体的なチームの体制を提案し、地域におけるリーダーシップのあり方を理解できること、である。

### 教科書

その都度、指示します（基本はプリント配布）

### 参考書

P. F. ドラッカー「非営利組織の経営」ダイヤモンド社  
 P. F. ドラッカー「イノベーションと企業家精神」ダイヤモンド社  
 ロバート・K・グリーンリーフ「サーバント・リーダーシップ」英治出版  
 ジェームズ・C・コリンズ「ビジョナリーカンパニー【特別編】」日経BP社  
 広井良典「コミュニティを問いなおす」ちくま新書  
 塩沢由典・小長谷一之「まちづくりと創造都市—基礎と応用—」晃洋書房  
 吉本哲郎「地元学をはじめよう」岩波ジュニア新書  
 中川淳「経営とデザインの幸せな関係」日経BP社

### 授業計画・内容

- ①地域の現状から「既に起こった未来」を探せ  
 【北九州地域の現状の確認：高齢化・都心空洞化・人口減少、人口構造、消費低迷】
- ②、③再都市化と都心機能の変遷  
 【北九州における再都市化の動向：中心市街地、再都市化、まちなか居住】  
 【都心における新しい潮流：深夜化・24時間化、生活拠点化、エキマチ化、歓楽街、都心劣化】
- ④、⑤中心市街地問題の真髄を考察する  
 【佐世保の街づくりケースによるディスカッション：地域コミュニティ、地域イベント、自助・互助・公助】  
 【中心市街地問題の諸相：地域コミュニティ、不動産問題、ジェントリフィケーション】
- ⑥、⑦地域づくりのケーススタディ（フィールド・ワーク）  
 【中心市街地の活性化：黒崎地区の実態（商店街、再開発、再都市化、コミュニティデザイン）】
- ⑧、⑨地域コミュニティの限界と可能性  
 【地域コミュニティとは？：公/共/私、地域/国家/地球、外部マネジメント、人的ネット】

ワーク、ソーシャルキャピタル】

【ディスカッション：地域コミュニティの未来／地域づくりのために誰とつながるべきか？／地域コミュニティの拠り所とは？】

⑩、⑪事例に学ぶ地域資源と地域事業創造

【地域資源の発掘方法：まちづくり3法則、地域資源、差別化戦略、マーケティング戦略、由布院、日田】

【ディスカッション：北九州における未開の地域資源は何か？】

⑫、⑬地域づくりリーダーの真実（ゲスト講師を招聘）

⑭、⑮地域事業創造のためのフォーメーションとリーダーシップ

【地域事業創造に必要な構成要素：サーバントリーダーシップ、ソーシャルメディア、ダウンサイジング、地域協働】

【ディスカッション：これからの地域事業～どんな地域課題に対して、どんな地域資源を生かして、誰とつながるのか？～

成績評価の方法	街づくりケースに係るレポート（30%）、地域づくりに係るワークシートのアイデア（30%）、ディスカッションに対する貢献度（40%）
事前・事後学習の内容	事前学習については適宜、資料や文献の確認・精読等を指示します。関心のある方は、可能な範囲で上記の参考書を読んで講義に臨んで下さい。また、興味のある地域を自分の足で歩き注目した点や問題点をピックアップしておいてください。 事後学習については、講義に活用したパワポを学習支援フォルダにあげるのので、復習・確認をしてください。
履修上の注意	マーケティングや経営戦略といったベーシック科目をしっかり習得していることを期待する。また、できればパブリックマネジメントやソーシャル・ビジネスの履修していることが望ましい。
担当者からのメッセージ	ビジネススクールならではの知見を応用しつつ、地域づくりを多角的に捉えて、具体的な案件をとりあげて議論を深めたいと思います。
キーワード	地域事業創造、コラボレーション、すでに起こった未来、地域コミュニティ、ソーシャルキャピタル、ソーシャル・ビジネス、市街地活性化、社会的課題、合意形成、地域協働、公共空間利用、地域資源、サーバント・リーダーシップ